

# 令和5年度 夢の樹みどり 事業計画書

## 1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以降、感染対策を行いながらも、できるだけ利用者の日常生活が維持できるよう取り組んできた。感染リスクの高い活動を制限せざるを得ない状況ではあったが、多くの人を楽しみにしている旅行を毎年実施するなど、生活の中に楽しみが持てるように取り組むことができたと考えている。一方で3回の集団感染も経験し、感染防止と活動の両立の難しさも感じているところである。新型コロナウイルス感染症に対する考え方や対応が社会的に変わりつつある中、令和5年度は感染症対策と活動の両立をどのように行っていくか、模索しながらの新年度のスタートとなりそうである。活動の基本的な方針、重点目標は令和4年度までと変わらない。これ迄数年に渡り取り組んできたが、まだまだ不十分な点が多いと感じている。施設長、職員のスキルアップと使命感を共有できる組織作りを目標に、実践を重ね、学ぶことで少しずつでも事業内容や支援の質の向上を図っていきたいと考えている。

## 2 事業概要

- |            |                  |     |                 |
|------------|------------------|-----|-----------------|
| 1) 施設名     | 夢の樹みどり           |     |                 |
| 2) 事業種別    | 生活介護             |     |                 |
| 3) 所在地     | 東京都小平市小川町1-744-1 |     |                 |
| 4) 経営主体    | 社会福祉法人 未来        |     |                 |
| 5) 利用定員    | 40名              |     |                 |
| 6) 法人認可年月日 | 平成14年12月11日      |     |                 |
| 7) 事業開始年月日 | 平成29年4月1日        |     |                 |
| 8) 職員      | 管理者              | 1名  |                 |
|            | サービス管理責任者        | 1名  | (管理者兼務:常勤換算1.0) |
|            | 生活支援員            | 24名 | (常勤換算21.2)      |
|            | 看護師              | 4名  | (常勤換算2.3)       |
|            | 嘱託医              | 1名  |                 |

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

## 4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 安心できる将来への支援

## 5 実施事業 (活動内容)

- 1) 就労支援事業
  - (1) 資源回収
  - (2) 公園清掃
  - (3) 使用済み小型家電回収
  - (4) 小型充電式電池の分別
  - (5) 書類封筒作成
  - (6) 紙袋底板入れ
  - (7) 缶・ペットボトル潰し
  - (8) その他軽作業
  
- 2) 生活支援事業
  - (1) レクリエーション (月 2 回実施)
  - (2) 旅行 (年 1 回実施)
  - (3) 運動プログラム (週 3 日～5 日実施)
  - (4) ストレッチ (週 4 日～5 日実施)
  - (5) 夕方生活支援事業 (週 3 日実施)
  
- 3) 行事
  - 4 月 永年勤続表彰式
  - 5 月 スポーツ大会
  - 6 月 ゲーム大会
  - 7 月 川遊び
  - 8 月 夏祭り
  - 9 月 公園散策
  - 10 月 旅行
  - 11 月 ゲーム大会
  - 12 月 クリスマス会
  - 1 月 初詣
  - 2 月 公園散策
  - 3 月 合同防災訓練

## 6 日 課

開所・送迎	8 : 3 0 ~ 9 : 5 0
朝礼	9 : 5 0 ~ 1 0 : 0 0
活動	1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
(作業・運動 P G)	
昼休み	1 2 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0
昼礼	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 1 0
活動	1 4 : 1 0 ~ 1 5 : 3 0
(作業・運動 P G)	
実績記入・お茶	1 5 : 3 0 ~ 1 5 : 5 0
終礼	1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 0 0
送迎・清掃	1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
G P ミーティング	1 7 : 0 0 ~ 1 7 : 1 5
全体ミーティング	1 7 : 1 5 ~ 1 7 : 3 0

## 7 重点課題・目標

### 1) 活動

#### (1) 目的意識の共有及びコミュニケーションの強化によるチーム支援の充実

##### ① 職員間の連携協働体制の構築

活動や利用者の状況等について施設長、主任、リーダー、職員間の情報共有や意見交換を密に行うほか、職員一人ひとりが自己の担当以外の業務にも関心を持ち、相互に業務を補完し合う。

##### ② 支援計画の目的意識の共有と計画に沿った支援の実施

利用者の状況や希望に合った適切な個別支援計画を作成し、利用者一人ひとりの支援計画に沿って支援を実施するとともに、その成果などについて丁寧に検証を行う。

#### (2) 活動内容と支援の充実

##### 1 F— ① 車いす利用者等の身体に機能麻痺がある利用者の負担軽減と機能の維持、向上

長時間の座位を避けるため、毎日2時間程度マットなどで体を伸ばしての静養やストレッチを行う。

##### ② 利用者の主体性の向上

朝礼などの司会を当番制にして利用者が参加できる場面を設け、活動に向けた意欲と主体性の向上を図る。

##### 2 F— ① 利用者の情緒面の安定及び不安感の解消

一人ひとりにあった環境設定や、分かりやすい予定の伝達により見通しを持ちやすくすることで、利用者の情緒面の安定を図る。他害の可能性ある利用者に対して、不安感の解消など気持ちの安定化を図るとともに、他のコミュニケーション手段の獲得に向けた支援を行う。

##### 1・2 F 共通—

##### ① 利用者の安全確保の徹底

見守りや職員配置の工夫を行い、他害、離接等の事故防止を徹底する。

##### ② 健康管理の充実

ア、通所前の検温やマスク着用の声かけ、建物内消毒等の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行う。

イ、月々の体重データや健康診断結果に基づき、必要に応じて運動プログラムを実施する。

##### ③ 新規の活動の開発

これまでの活動の継続、充実を図るとともに、利用者の嗜好、特性等に応じた活動の開発を行う。

### 2) 人材育成

#### (1) 管理職候補者及びリーダー層の育成

#### (2) 出納職員の育成

#### (3) 職員の専門性向上

#### (4) 連携協働体制の強化

### 3) 経営管理

#### (1) 介護給付費の安定確保

1日平均利用者37.8人(45人在籍、出勤率84%)を目標(令和4年度1日平均利用者36.0人)とするほか、重度障害者支援加算の算定人数を20名から21名に増やす。また、新型コロナウイルスの影響で通所していない利用者に対しては在宅支援を行い、給付費を安定的に確保

する。

(2) 経費削減

使用していない活動場所（特に玄関等の利用頻度の高い場所）の電気やエアコンの消し忘れをなくし、節電を徹底する。

(3) 計画的な予算執行

毎月の月次試算分析を正確に行うとともに、必要に応じて補正を行い、年間を通して計画的に予算執行を行う。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

健康診断・身体測定を行ない、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。また、通所前の検温やマスク着用、建物内消毒等の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行う。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 生活支援員

救助担当 生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。